

研究成果（H30-R2 年度研究班）

- 資料 1 家族性高コレステロール血症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・英語論文）
- 資料 2 LCAT 欠損症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・英語論文）
- 資料 3 シトステロール血症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・英語論文）
- 資料 4 タンジール病に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・英語論文）
- 資料 5 原発性高カイロミクロン血症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・英語論文）
- 資料 6 脳髄黄色腫症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・英語論文）
- 資料 7 無 β リポ蛋白血症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・英語論文）
- 資料 8 その他、脂質異常症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・英語論文）

資料 1 家族性高コレステロール血症に関する疾患啓発 (学会等講演・日本語総説・論文)

(国際学会)

- 1) Tada H, Kawashiri MA, Nohara A, Takamura M, Prognostic Impact of Cascade Screening for Familial Hypercholesterolemia on Cardiovascular Events, European Society of Cardiology Congress 2020 Aug 29-Sep 2, 2020 (Amsterdam)
- 2) Sachiko Okazaki, Satoru Takase, Masaki Tanaka, Midori Kubota, Eisuke Amiya, Mikio Takanashi, Chengcheng Li, Jingxuan Shi, Hiroshi Noto, Yoko Iizuka, Shintaro Yanagimoto, Takashi Kadowaki, Toshimasa Yamauchi, Hiroaki Okazaki. Universal Screening for Familial Hypercholesterolemia in Young Adults : The Young FH Study. American Heart Association Scientific Sessions 2020 (2020年11月 Dallas, Texas(virtual))
- 3) Koseki M, Prevalence of Coronary Artery Disease and Achievement of Low-density Lipoprotein Cholesterol Management Targets in Familial Hypercholesterolemia Patients at Osaka University Hospital, 88th European Atherosclerosis Congress (EAS), ポスター発表(共著者), 2020年10月4-7日(Virtual)
- 4) Koseki.M, Targeted Exon Sequencing of Lipid-Related Genes in Patients with Clinically Diagnosed Familial Hypercholesterolemia , American Heart Association Scientific Sessions 2020, ポスター発表 (共著者) , 2020年11月13-17日 (Virtual)

(国内学会)

- 1) 多田隼人 (座長: 塚本和久) : 遺伝学から考える超積極的LDL-C低下療法のススメ, 第20回日本動脈硬化学会動脈硬化教育フォーラム, 2020年2月2日 (東京)
- 2) 斯波真理子 (座長: 川尻剛照, 島野仁) : HoFH治療の進歩と課題, シンポジウム2, FHの診断治療の進歩と課題(小児を含む), 第52回日本動脈硬化学会, 2020年7月17日~31日(Web開催)
- 3) 小倉 正恒 (座長: 川尻剛照, 島野仁) : FH 診断基準の方向性, シンポジウム2, FHの診断治療の進歩と課題(小児を含む), 第52回日本動脈硬化学会, 2020年7月17日~31日(Web開催), 2020 (総会プログラム・抄録集 95)
- 4) 多田隼人, 岡田寛史, 野村章洋, 野原 淳, 高村雅之, 川尻剛照 (座長: 川尻剛照, 島野仁) : FHの遺伝子解析の最先端 (遺伝子解析の最先端と将来の方向性), シンポジウム2, 第52回日本動脈硬化学会総会 2020年7月17日~31日(Web開催)
- 5) 南野哲男 (座長: 川尻剛照, 島野仁) : FHのリバース・カスケードスクリーニング, シンポジウム2, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日~31日(Web開催)
- 6) 土橋一重 (座長: 川尻剛照, 島野仁) : 小児 FH の問題点, シンポジウム2, FHの

- 診断治療の進歩と課題（小児を含む），第52回日本動脈硬化学会総会学術集会，2020年7月17日～31日(Web開催)
- 7) 多田隼人, 岡田寛史, 野村章洋, 野原 淳, 高村雅之, 川尻剛照 : Prevalence, self-awareness, and LDL cholesterol levels among patients highly suspected as familial hypercholesterolemia in a Japanese community, 第52回日本動脈硬化学会総会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
 - 8) 土橋一重 (座長: 横手幸太郎, 荒井秀典) : 小児期の脂質異常症とメタボリックシンドローム, シンポジウム9 メタボ～フレイル～ライフステージごとの動脈硬化リスク, 第52回日本動脈硬化学会総会学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
 - 9) 山口崇, 中村祥子, 岡怜奈, 田中翔, 河越尚幸, 渡邊康弘, 大平征宏, 清水直美, 齋木厚人, 辻沙耶佳, 大城崇司, 龍野一郎 : 肥満外科治療は体重減少非依存性にHDL-Cを上昇させる, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
 - 10) 岡崎佐智子, 高瀬暁, 田中督記, 久保田みどり, 網谷英介, 高梨幹生, 李騁騁, 石婧璇, 能登洋, 飯塚陽子, 柳元伸太郎, 門脇孝, 山内敏正, 岡崎啓明 : 若年成人における健診 LDL-C スクリーニングの意義: FH 低診断の克服, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
 - 11) 高瀬暁, 田中督記, 岡崎佐智子, 高梨幹生, 李騁騁, 石婧璇, 飯塚陽子, 門脇孝, 山内敏正, 岡崎啓明 : 家族性高コレステロール血症と診断された症例に見出されたシトステロール血症, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
 - 12) 岡崎啓明 (座長: 横手幸太郎, 荒井秀典) : メタボ～フレイル～ライフステージごとの動脈硬化リスク 健康長寿のためのLDL-Cの健診スクリーニング young FH研究からの提言, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
 - 13) 野原 淳 (座長: 松尾 汎) : 家族性高コレステロール血症におけるアキレス腱計測の意義, 第24回 診断技術向上セミナー 3<特別セッション>成人家族性高コレステロール血症スクリーニングに用いる「超音波によるアキレス腱厚測定」の標準的評価法, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
 - 14) 多田隼人 : 遺伝子診療の利点と注意点, 第24回日本心不全学会学術集会, 2020年10月15日～17日 (Web開催)
 - 15) Tada H, Kawashiri MA, Nohara A, Takamura M, Prognostic Impact of Cascade Screening among Patients with Familial Hypercholesterolemia : 第84回日本循環器学会学術集会, 2020年7月27日～8月2日(Web開催)
 - 16) 土橋一重 : 小児の家族性高コレステロール血症, 日本動脈硬化学会共催シンポジウム 家族性高コレステロール血症の疾患啓発, 第119回日本皮膚科学会総会, 2020年6月4日～7日 (Web開催)
 - 17) 野原 淳 (座長: 松永彰, 木原進士) : 著明な高コレステロール血症を見たら, シンポジウム6 (日本動脈硬化学会との共催) 原発性脂質異常症のスクリーニング, 第60回日本臨床化学会・年次学術集会, 2020年10月30日～11月1日 (Web開催)

- 18) 渡部俊之, 横村 守, 石田恵梨, 河野正臣, 中川央充, 根間敏郎, 村野武義, 武城英明, 平山 哲, 三井田 孝 (座長: 大久保滋夫, 中川央充): トリグリセライド (TG)測定法における遊離グリセロールの影響. 第60回日本臨床検査医学会年次学術集会, 2020年11月 (Web開催)
- 19) 岡崎佐智子, 高瀬暁, 久保田みどり, 田中督記, 網谷英介, 高梨幹生, 李騁騁, 石婧璇, 能登洋, 飯塚陽子, 柳元伸太郎, 門脇孝, 山内敏正, 岡崎啓明: 家族性高コレステロール血症早期診断のための健診スクリーニングの有用性および若年成人のための診断基準についての検討, 第63回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020年10月 (Web開催)
- 20) 高瀬 暁, 田中 督記, 岡崎佐智子, 高梨 幹生, 李 騁騁, 石 婧璇, 飯塚 陽子, 門脇 孝, 山内 敏正, 岡崎 啓明: 特異な臨床経過から診断し得た家族性高コレステロール血症とシトステロール血症の合併例, 第63回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020年10月 (Web開催)
- 21) 小関正博: Targeted Exon Sequencing of Lipid-Related Genes in Patients with Familial Hypercholesterolemia, 第 52 回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020 年 7 月 17~31 日 (WEB 開催)
- 22) 小関正博: The Current Status of Achievement of Low-density Lipoprotein Cholesterol Management Targets in Familial Hypercholesterolemia Patients in Osaka University Hospital, 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020 年 7 月 27 日~8 月 2 日 (WEB 開催)
- 23) 代田浩之 (座長: 斯波 真理子, 佐藤 元美): Lp(a) と 心血管疾患リスク~LDL アフェレシスへの期待~, シンポジウム 5 脂質異常症・動脈硬化領域における LDL アフェレシス治療の近年の位置づけ, 第 41 回日本アフェレシス学会年次学術集会, 2020 年 10 月 (東京)
- 24) 野原 淳 (座長: 斯波 真理子, 佐藤 元美): FH と遺伝子変異—遺伝子変異と治療の選択—, SYMPOSIUM 5 脂質異常症・動脈硬化領域における LDL アフェレシス治療の近年の位置付け, 第 41 回日本アフェレシス学会年次学術集会, 2020 年 10 月 (東京)
- 25) 加茂 夕紀, 藤本 進一郎, 青島 千紘, 川口 裕子, 高村 和久, 比企 誠, 富澤 信夫, 隈丸 加奈子, 野崎 侑衣, 工藤 綾子, 高橋 大悟, 代田 浩之: A Study of Heart Valve Calcification Using Coronary CT Angiography, 日本循環器学会学術集会抄録集 84 回 Page PJ11-4, 2020 年 07 月
- 26) 石垣 泰, 外館 祐介, 八代 諭, 佐々木 真理: 超高磁場MRIを用いた代謝異常患者における脳血管画像解析: 第34回日本糖尿病合併症学会シンポジウム, 2019年 9月27日 (大阪)
- 27) 小倉 正恒, 神谷 千津子, 片岡 有, 吉松 淳, 斯波 真理子: 循環器疾患患者の妊娠と出産(Management of Pregnancy and Delivery in Women with Familial Hypercholesterolemia). 第84回日本循環器学会学術集会. 2020 (抄録集 シンポジウム23 - 5)

(日本語総説)

- 1) 斯波真理子: 小児脂質異常症, 総編集 水口雅, 市橋光, 崎山弘, 伊藤秀一, 今日の小児治療指針 第17版, 医学書院, 253, 2020.
- 2) 小倉正恒: もっともっとくわしく知りたい!イラストでわかる脂質・脂肪酸・コレステロールのふしぎ 続発性脂質異常症, Nutrition Care 13(4) 335 - 338, 2020.
- 3) 小倉正恒: 家族性高コレステロール血症ホモ接合体の管理, 糖尿病・内分泌代謝科 51(2) 157 - 163, 2020.
- 4) 小倉正恒: VI: 脂質異常症の治療 3. LDL-Cを下げる, そうだったんだ!脂質異常症(第2版): 治療の新潮流を探る, 伊藤浩編, 文光堂, 東京: 160-173(分担執筆), 2020
- 5) 小倉正恒: 5章. 各疾患・ライフステージの心血管イベントリスク・治療の違いを知ろう!, 3. 小児や妊娠可能女性の家族性高コレステロール血症はどのように管理すればよいですか?, 評価・処方“いま”を押さえる 見直し!脂質異常症, 小倉正恒編, 日本医事新報社, 東京: 145-148(分担執筆・企画編集), 2020
- 6) 多田隼人, 岡田寛史, 高村雅之, 川尻剛照: 遺伝子研究からみた脂質異常症, 糖尿病・内分泌代謝科 Vol.51 No.2, 85-91, 2020
- 7) 土橋一重: 小児疾患の薬物治療ガイドライン総まとめ, 編集:五十嵐隆 第6章 内分泌・代謝疾患 5. 家族性高コレステロール血症, 月刊薬事 増刊号: 1425-1431, 2020.
- 8) 土橋一重: 総説 小児家族性高コレステロール血症診療ガイド, 小児科 61: 878-886, 2020.
- 9) 土橋一重: 小児期における肥満・脂質異常症の治療, 診断と治療 108: 1381-1385, 2020.
- 10) 山下静也: LDL コレステロールが高い状態を放置しないで, 日医ニュース 令和2年8月5日号 健康ふらざ No.533:1, 2020
- 11) 山下静也: II 脂質異常症の病態と診断 3. LDLの目標値はなぜ病態で異なる?, そうだったんだ!脂質異常症【第2版】治療の新潮流を探る(編集:伊藤浩):61-67, 2020(文光堂)
- 12) 山下静也: 2. 代謝・内分泌検査/B. 脂質代謝 総コレステロール, 臨床検査ガイド2020年改訂版 これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた(大西宏明, Medical Practice 編集委員会: 矢崎義雄, 小池和彦, 小室一成, 須永眞司, 山内敏正):287-294, 2020(文光堂)
- 13) 岡崎啓明: 「糖尿病患者の脂質異常症」【糖尿病エキスパートブック 食事療法・栄養指導に活かす最新情報】「臨床栄養」136(6):853-858, 2020.05
- 14) 岡崎啓明: 「PCSK9阻害薬を処方すべき患者とは」【いま知っておきたい! 内科最新トピックス】内科 126(3):617-620, 2020.09
- 15) 岡崎啓明: 「PCSK9阻害薬」診断と治療 108(10), 2020.10
- 16) 石垣 泰: 脂質異常症—高LDLコレステロール血症. 今日の治療指針 医学書院; 2019: 745-50
- 17) 稲垣恭子: Lp(a)と動脈硬化 Medical View Point Vol.41 No.8 P.4
- 18) 稲垣恭子: MTP 阻害薬 (microsomal triglyceride transfer protein inhibitor):

ロミタピド 51 (2) : 151-156, 2020

- 19) 野原 淳 :【脂質異常症と動脈硬化 update】「PCSK9 阻害薬」, 糖尿病・内分泌代謝科 (2435-1946)51 巻 2 号 Page129-135(2020.08)
- 20) 野原 淳 : 2 章 薬を知ろう! 「4. 家族性高コレステロール血症ホモ接合体の治療, MTP 阻害薬とアフェレシスについて教えて下さい」, 見直し! 脂質異常症 あなたも名医! 評価・処方 of “いま” を押さえる (j m e d) 小倉 正恒 (編), 日本医事新報社, 東京: 52-62, 2020
- 21) 野原 淳 :「脂質異常症の成因・病態生理」, 動脈硬化予防のための肥満・脂質異常症診療戦略 肥満・脂質異常の病態・診断基準, 診断と治療 108(10):1325-1333, 2020.10
- 22) 野原 淳 : I 症候編 1. 全身的にみられる症候 「脂質異常症」, 今日の診断指針 第 8 版 永井 良三 (総編集), 浅利 靖 (ほか責任編集), 医学書院, 123-126, 2020.4

(論文)

- 1) Harada-Shiba M, Ali S, Gipe DA, Gasparino E, Son V, Zhang Y, Pordy R, Catapano AL. A randomized study investigating the safety, tolerability, and pharmacokinetics of evinacumab, an ANGPTL3 inhibitor, in healthy Japanese and Caucasian subjects. *Atherosclerosis*. 314:33-40. 2020.
- 2) Yamashita S, Masuda D, Akishita M, Arai H, Asada Y, Dobashi K, Egashira K, Harada-Shiba M, Hirata K, Ishibashi S, Kajinami K, Kinoshita M, Kozaki K, Kuzuya M, Ogura M, Okamura T, Sato K, Shimano H, Tsukamoto K, Yokode M, Yokote K, Yoshida M. Guidelines on the Clinical Evaluation of Medicinal Products for Treatment of Dyslipidemia. *J Atheroscler Thromb*. 27(11):1246-1254. 2020.
- 3) Blom DJ, Harada-Shiba M, Rubba P, Gaudet D, Kastelein J J.P, Charng M-J, Pordy R, Donahue S, Ali S, Dong Y, Khillan N, Baccara-Dinet M, Rosenson R. Efficacy and safety of Alirocumab in adults with homozygous familial hypercholesterolemia The ODYSSEY HoFH trial. *Journal of the American College of Cardiology*. 76(2):131-142. 2020.
- 4) Hori M, Takahashi A, Son C, Ogura M, Harada-Shiba M. The first Japanese cases of familial hypercholesterolemia due to a known pathogenic APOB gene variant, c.10580 G>A: p.(Arg3527Gln) *J Clin Lipidol*. 14(4):482-486. 2020.
- 5) Tada H, Hori M, Nomura A, Hosomichi K, Nohara A, Kawashiri MA, Harada-Shiba M. A catalog of the pathogenic mutations of LDL receptor gene in Japanese familial hypercholesterolemia. *J Clin Lipidol*. 14(3):346-351.e9. 2020.
- 6) Hori M, Takahashi A, Son C, Ogura M, Harada-Shiba M. The benign c.344G > A: p.(Arg115His) variant in the LDLR gene interpreted from a pedigree-based genetic analysis of familial hypercholesterolemia. *Lipids Health Dis*, 19(1):62. 2020.
- 7) Wilemon KA, Patel J, Aguilar-Salinas C, Ahmed CD, Alkhnifawi M, Almahmeed W, Alonso R, Al-Rasadi K, Badimon L, Bernal LM, Bogsrud MP, Braun LT, Brunham

- L, Catapano AL, Cillikova K, Corral P, Cuevas R, Defesche JC, Descamps OS, de Ferranti S, Eisele JL, Elikir G, Folco E, Freiburger T, Fuggetta F, Gaspar IM, Gesztes AG, Groselj U, Hamilton-Craig I, Hanauer-Mader G, Harada-Shiba M, Hastings G, Hovingh GK, Izar MC, Jamison A, Karlsson GN, Kayikcioglu M, Koob S, Koseki M, Lane S, Lima-Martinez MM, Lopez G, Martinez TL, Marais D, Marion L, Mata P, Maurina I, Maxwell D, Mehta R, Mensah GA, Miserez AR, Neely D, Nicholls SJ, Nohara A, Nordestgaard BG, Ose L, Pallidis A, Pang J, Payne J, Peterson AL, Popescu MP, Puri R, Ray KK, Reda A, Sampietro T, Santos RD, Schalkers I, Schreier L, Shapiro MD, Sijbrands E, Soffer D, Stefanutti C, Stoll M, Sy RG, Tamayo ML, Tilney MK, Tokgozoglul L, Tomlinson B, Vallejo-Vaz AJ, Vazquez-Cardenas A, de Luca PV, Wald DS, Watts GF, Wenger NK, Wolf M, Wood D, Zegerius A, Gaziano TA, Gidding SS. Reducing the clinical and public health burden of familial hypercholesterolemia: A global call to action. *JAMA cardiology*. 5(2):217-229, 2020.
- 8) Tada H, Okada H, Nomura A, Nohara A, Takamura M, Kawashiri MA, A Healthy Family of Familial Hypobetalipoproteinemia Caused by a Protein-truncating Variant in the PCSK9 Gene, *Intern Med*. 59(6):783-787.2020
- 9) Tada H, Usui S, Sakata K, Takamura M, Kawashiri MA ,Low-Density Lipoprotein Cholesterol Level cannot be too Low: Considerations from Clinical Trials, Human Genetics, and Biology, *J Atheroscler Thromb*. 1;27(6):489-498.2020
- 1 0) Tada H, Okada H, Yoshida S, Shimojima M, Nomura A, Tsuda T, Mori M, Takashima SI, Kato T, Usui S, Sakata K, Hayashi K, Fujino N, Inazu A, Takahara S, Imai Y, Matsubara T, Nohara A, Miwa K, Namura M, Terai H, Yoshida T, Araki T, Minamoto M, Aburao T, Ito Y, Nakanishi C, Kawasaki S, Todo Y, Koizumi J, Kita Y, Matsumoto H, Shintaku H, Hodatsu A, Ino H, Higashikata T, Takata M, Misawa K, Yamaguchi M, Noji Y, Osato K, Mabuchi T, Ichise T, Kaku B, Katsuda S, Fujimoto M, Uchiyama K, Fujioka K, Nakahashi T, Nozue T, Michishita I, Usuda K, Otowa K, Okeie K, Hirota S, Aburadani I, Kurokawa K, Takatori O, Hondo S, Oda H, Takata S, Murai H, Kinoshita M, Nagai H, Sekiguchi Y, Sakagami S, Omi W, Fujita C, Katsuki T, Ootsuji H, Igarashi A, Nakano M, Okura S, Maeno K, Mitamura Y, Sugimoto N, Yamamoto M, Akao H, Kajinami K, Takamura M, Kawashiri MA, Hokuriku-plus familial hypercholesterolaemia registry study: rationale and study design, *BMJ Open*. 10;10(9):e038623.2020
- 1 1) Tada H, Okada H, Nomura A, Nohara A, Usui S, Sakata K, Takamura M, Kawashiri MA, A reassessment of the Japanese clinical diagnostic criteria of familial hypercholesterolemia in a hospital-based cohort using comprehensive genetic analysis, *Pract Lab Med*. 19;22:e00180. 2020
- 1 2) Tada H, Shibayama J, Nishikawa T, Okada H, Nomura A, Usui S, Sakata K, Hashiba A, Inazu A, Takamura M, Kawashiri MA, Prevalence, self-awareness, and LDL cholesterol levels among patients highly suspected as familial

- hypercholesterolemia in a Japanese community, *Pract Lab Med.* 19;22:e00181. 2020
- 1 3) Philip J Barter, Shizuya Yamashita, Ulrich Laufs, Alvaro J Ruiz, Rody Sy, Mark David G. Fang, Emanuela Folco, Peter Libby, Yuji Matsuzawa, Raul D. Santos. Gaps in beliefs and practice in dyslipidaemia management in Japan, Germany, Colombia and the Philippines: insights from a web-based physician survey. *Lipids in Health and Disease* 19:131, 2020
- 1 4) Gerald F. Watts, Samuel S. Gidding, Pedro Mata, Jing Pang, David R. Sullivan, Shizuya Yamashita, Frederick J. Raal, Raul D. Santos, Kausik K. Ray. Familial hypercholesterolaemia: evolving knowledge for designing adaptive models of care. *Nat Rev Cardiol.* 17(6):360–377, 2020
- 1 5) Yoshida H, Tada H, Ito K, Kishimoto Y, Yanai H, Okamura T, Ikewaki K, Inagaki K, Shoji T, Bujo H, Miida T, Yoshida M, Kuzuya M, Yamashita S. Reference Intervals of Serum Non-Cholesterol Sterols by Gender in Healthy Japanese Individuals. *J Atheroscler Thromb.* 1;27(5):409–417. 2020 May
- 1 6) Yamashita S, Arai H, Bujo H, Masuda D, Ohama T, Ishibashi T, Yanagi K, Doi Y, Nakagawa S, Yamashiro K, Tanabe K, Kita T, Matsuzaki M, Saito Y, Fukushima M, Matsuzawa Y; PROSPECTIVE Study Group. Probuco Trial for Secondary Prevention of Atherosclerotic Events in Patients with Coronary Heart Disease (PROSPECTIVE). *J Atheroscler Thromb.* 2020 Apr 24.
- 1 7) Suwa S, Ogita M, Takahashi N, Wada H, Dohi T, Kasai T, Okazaki S, Shimada K, Miyauchi K, Bujo H, Daida H. Impact of LR11 as Residual Risk on Long-Term Clinical Outcomes in Patients with Coronary Artery Disease Treated with Statins after First Percutaneous Coronary Intervention. *Int Heart J.* 30;61(3):470–475. 2020 May
- 1 8) Shimizu M, Miyazaki T, Takagi A, Sugita Y, Ouchi S, Aikawa T, Shiozawa T, Hiki M, Takahashi S, Hiki M, Shimada K, Daida H. Low coenzyme Q10 levels in patients with acute cardiovascular disease are associated with long-term mortality. *Heart Vessels.* 2020 Sep 16. doi: 10.1007/s00380-020-01698-7. Online ahead of print. PMID: 32939561
- 1 9) Kamo Y, Fujimoto S, Aoshima C, Kawaguchi YO, Nozaki Y, Kudo A, Takahashi D, Takamura K, Hiki M, Tomizawa N, Kumamaru KK, Aoki S, Daida H. A study on the prevalence, distribution and related factors of heart valve calcification using coronary CT angiography. *Int J Cardiol Heart Vasc.* 2020 Jul 1;29:100571. doi: 10.1016/j.ijcha.2020.100571. eCollection 2020 Aug. PMID: 32642552
- 2 0) Todate Y, Uwano I, Yashiro S, Chida A, Hasegawa Y, Oda T, Nagasawa K, Honma H, Sasaki M, Ishigaki Y. High Prevalence of Cerebral Small Vessel Disease on 7T Magnetic Resonance Imaging in Familial Hypercholesterolemia. *J Atheroscler Thromb.* 2019;26(12):1045–1053.
- 2 1) Tada H, Okada H, Nomura A, Yashiro S, Nohara A, Ishigaki Y, Takamura M, Kawashiri MA. Rare and Deleterious Mutations in ABCG5/ABCG8 Genes Contribute

to Mimicking and Worsening of Familial Hypercholesterolemia Phenotype. *Circ J.* 2019; 83(9):1917-1924.

- 2 2) Jun Kido, Hironobu Inoue, Hiroshi Shimotsu, Yutaka Yoshida, Yosuke Suzuki, Kimitoshi Nakamura, Fumio Endo, Shirou Matsumoto. Effect of L-Carnitine on Amino Acid Metabolism in Elderly Patients Undergoing Regular Hemodialysis. *Critical Care Nephrology - Research Article. Blood Purif* 2020;49:614-621. DOI: 10.1159/000505609

資料 2 LCAT 欠損症に関する疾患啓発 (学会等講演・日本語総説・論文)

(国内学会)

- 1) 小倉正恒 (座長: 松永彰, 木原進士): HDL 異常低値・異常高値の話題と原発性脂質異常症の診療・研究の方向性について, シンポジウム 6 (日本動脈硬化学会との共催) 原発性脂質異常症のスクリーニング, 第 60 回日本臨床化学会・年次学術集会, 2020 年 10 月 30 日~11 月 1 日 (Web 開催)
- 2) 武城英明 (座長: 小倉正恒, 千葉仁志): 低 HDL-C 血症の検査の進め方—LCAT 欠損症とタンジール病—, JSCC 国際学術シンポジウム HDL 研究のトピックス, 第 60 回日本臨床化学会・年次学術集会, 2020 年 10 月 30 日~11 月 1 日 (Web 開催)
- 3) 黒田 正幸, 石川 耕, 前澤 善朗, 三川 信之, 窪田 吉孝, 青柳 靖之, 浅田 咲世, 鬼武 彰宣, 切無澤 美香, 和田 淳, 山本 徳男, 花岡 英紀, 麻生 雅是, 齋藤 康, 横手 幸太郎 (座長: 斯波真理子, 石橋俊): LCAT 遺伝子導入脂肪細胞 (LCAT-GMAC) による家族性 LCAT 欠損症の治療, シンポジウム 20, 第 52 回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 7 月 17 日~7 月 31 日 (Web 開催)
- 4) 小関正博: 著名な低 HDL コレステロール血症をきたす原発性脂質異常症の臨床的特徴と鑑別, 第 117 回日本内科学会総会・講演会 ポスター発表, 2020 年 8 月 9 日 (Web 開催)

(日本語総説)

- 1) 小倉正恒: 【脂質がつなぐもの: 生物工学的脂質研究が導く新しい学際研究と産業 (後編)】 HDL はまだ死んでいない, 生物工学会誌 98(10): 536 - 539, 2020.
- 2) 小倉正恒: 令和時代の脂質異常症の診断と治療 update 動脈硬化予防における HDL-C 値の考え方, Medical View Point. Vol.41(8), 2, 2020.

(論文)

- 1) Yamamuro D, Yamazaki H, Osuga JI, Okada K, Wakabayashi T, Takei A, Takei S, Takahashi M, Nagashima S, Holleboom AG, Kuroda M, Bujo H, Ishibashi S. Esterification of 4 β -hydroxycholesterol and other oxysterols in human plasma occurs independently of LCAT. J Lipid Res. 2020 Sep;61(9):1287-1299.
- 2) Yamamuro D, Yamazaki H, Osuga JI, Okada K, Wakabayashi T, Takei A, Takei S, Takahashi M, Nagashima S, Holleboom AG, Kuroda M, Bujo H, Ishibashi S. Esterification of 4 β -hydroxycholesterol and other oxysterols in human plasma occurs independently of LCAT. J Lipid Res. 2020; 61: 1287-1299. doi: 10.1194/jlr.RA119000512.

資料3 シトステロール血症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説・論文）

（国内学会）

- 1) Tada H:最新の方法論と将来展望②ゲノム疫学, 第84回日本循環器学会学術集会, 2020年7月27日～8月2日(Web開催)
- 2) Tada H:本当は楽しい循環器遺伝学「ゲノム」アレルギーを無くそう!, 第84回日本循環器学会学術集会, 2020年7月27日～8月2日(Web開催)
- 3) 池脇克則、佐々木誠、川尻剛照、多田隼人 (座長:斯波真理子, 石橋俊):シトステロール血症の治療標的, シンポジウム20 原発性脂質異常症の分子メカニズムと治療との関連, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
- 4) 高瀬暁, 田中督記, 岡崎佐智子, 高梨幹生, 李騁騁, 石婧璇, 飯塚陽子, 門脇孝, 山内敏正, 岡崎啓明:家族性高コレステロール血症と診断された症例に見出されたシトステロール血症, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)

（日本語総説）

- 1) 多田隼人、高村雅之:脂質異常症 特集/ゲノム医療と分子標的治療の最新情報, 臨床と研究 97巻4号 51-57, 2020
- 2) 多田隼人:LDL-C値が高い患者に遭遇したら?, 見直し!脂質異常症 63-68, 2020
- 3) 塚本和久:シトステロール血症, 今日の診断指針 第8版 (永井良三、総編集) 医学書院, pp 1199-1201, 2020
- 4) 石垣 泰:脂質異常症—高LDLコレステロール血症. 今日の治療指針 医学書院; 2019:745-50

（論文）

- 1) Yoshida H, Tada H, Ito K, Kishimoto Y, Yanai H, Okamura T, Ikewaki K, Inagaki K, Shoji T, Bujo H, Miida T, Yoshida M, Kuzuya M, Yamashita S. Reference Intervals of Serum Non-Cholesterol Sterols by Gender in Healthy Japanese Individuals, J Atheroscler Thromb. 2020 May 1;27(5):409-417
- 2) Hayato Tada, Akihiro Nomura, Masatsune Ogura, Kazushige Dobashi, Kyoko Inagaki, Yasushi Ishigaki, Kimitoshi Nakamura, Katsunori Ikewaki, Kazuhisa Tsukamoto, Shizuya Yamashita, Masa-aki Kawashiri, Mariko Harada-Shiba. Diagnosis and management of sitosterolemia 2020. J Atheroscler Thromb, in press
- 3) Kojima N, Tada H, Usui S, Sakata K, Hayashi K, Nohara A, Inazu A, Takamura M, Kawashiri MA, Serum sitosterol level predicting ABCG5 or ABCG8 genetic mutations, Clin Chim Acta. 2020 Aug;507:11-16
- 4) Nomura A, Emdin CA, Won HH, Peloso GM, Natarajan P, Ardisino D, Danesh J, Schunkert H, Correa A, Bown MJ, Samani NJ, Erdmann J, McPherson R, Watkins H, Saleheen D, Elosua R, Kawashiri MA, Tada H, Gupta N, Shah SH, Rader DJ,

Gabriel S, Khera AV, Kathiresan S, Heterozygous ABCG5 Gene Deficiency and Risk of Coronary Artery Disease, *Circ Genom Precis Med.* 2020 Oct;13(5):417-423

- 5) Tada H, Okada H, Nomura A, Yashiro S, Nohara A, Ishigaki Y, Takamura M, Kawashiri MA. Rare and Deleterious Mutations in ABCG5/ABCG8 Genes Contribute to Mimicking and Worsening of Familial Hypercholesterolemia Phenotype. *Circ J.* 2019; 83(9):1917-1924.

資料4 タンジール病に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説）

（国内学会）

- 1) 小倉正恒（座長：松永彰, 木原進士）：HDL 異常低値・異常高値の話題と原発性脂質異常症の診療・研究の方向性について，シンポジウム6（日本動脈硬化学会との共催）
原発性脂質異常症のスクリーニング，第60回日本臨床化学会・年次学術集会，2020年10月30日～11月1日（Web開催）
- 2) 小倉正恒（座長：斯波真理子, 石橋俊）：タンジール病の治療は可能か？, シンポジウム20 原発性脂質異常症の分子メカニズムと治療との関連，第52回日本動脈硬化学会，2020年7月17日～31日（Web開催）（総会プログラム・抄録集 143）
- 3) 武城英明（座長：小倉正恒, 千葉仁志）：低HDL-C血症の検査の進め方—LCAT欠損症とタンジール病—, JSCC 国際学術シンポジウム「HDL研究のトピックス」，第60回日本臨床化学会・年次学術集会，2020年10月30日～11月1日（Web開催）
- 4) 小関正博：著名な低HDL コレステロール血症をきたす原発性脂質異常症の臨床的特徴と鑑別，第117回日本内科学会総会・講演会，ポスター発表，2020年8月9日（Web開催）

（日本語総説）

- 1) 小倉正恒：【脂質がつなぐもの：生物工学的脂質研究が導く新しい学際研究と産業（後編）】HDLはまだ死んでいない，生物工学会誌 98(10)：536 - 539, 2020.
- 2) 小倉正恒：令和時代の脂質異常症の診断と治療 update 動脈硬化予防におけるHDL-C値の考え方，Medical View Point. Vol.41(8), 2, 2020.

資料 5 原発性高カイロミクロン血症に関する疾患啓発 (学会等講演・日本語総説・論文)

(国際学会)

- 1) Yamashita.S: Role of Pemafibrate in Cardiovascular Risk Reduction, <Symposium: Lipid II> Lipid Lowering Treatment, The 17th Asia-Oceania Congress of Endocrinology and the 8th Seoul International Congress of Endocrinology and Metabolism, 2020年10月28日~10月31日
- 2) Hiroaki Okazaki: “Critical Role of SREBP-1c Large-VLDL Pathway in Environment-induced Hypertriglyceridemia of apoA-V Deficiency” Presentations by the 2020 ATVB Journal Early Career Investigator Award Recipients (Daniel Steinberg Early Career Investigator Award in Atherosclerosis/Lipoproteins), Vascular Discovery: From Genes to Medicine Scientific Sessions 2020 (2020年5月 Chicago, USA (virtual))

(国内学会)

- 1) 山下静也: 冠動脈疾患リスクとしての高 TG 血症とその治療~SPPARM α への期待~, ランチョンセミナー35 New Horizons of Residual Cardiovascular Risk, 第84回日本循環器学会学術集会, 2020年7月27日~8月2日(Web開催)
- 2) 岡崎啓明 (座長:松永彰,木原進士): 著明な高トリグリセライド血症をみたら, シンポジウム6 (日本動脈硬化学会との共催) 原発性脂質異常症のスクリーニング, 第60回日本臨床化学会・年次学術集会, 2020年10月30日~11月1日 (東京・Web開催)
- 3) 寺本 直弥、前澤 善朗、山口 崇、村野 武義、金子 ひより、南塚 拓也、馬場 雄介、林 愛子、木下 大輔、加藤 尚也、越坂 理也、中嶋 克行、村上 正巳、武城 英明、横手 幸太郎: 抗 GPIIb/IIIa 抗体による高カイロミクロン血症の一例, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日~31日(Web開催)
- 4) 岡崎 啓明: 中性脂肪の動脈硬化リスクに迫る 中性脂肪と動脈硬化 分子遺伝学から考える, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日~31日(Web開催)
- 5) 岡崎 啓明、後藤田貴也 (座長: 斯波真理子, 石橋俊): 原発性高カイロミクロン血症の治療標的, シンポジウム20 原発性脂質異常症の分子メカニズムと治療との関連, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日~31日(Web開催)
- 6) 岡崎啓明: 高中性脂肪血症の機序と対策, 第30回臨床内分泌代謝 Update, 2020年11月 (東京・Web開催)
- 7) 岡崎啓明: 環境と遺伝子~高 TG 血症はなぜ増悪するのか?, 第62回日本脂質生化学会, 2020年5月 (東京・Web開催)

(日本語総説)

- 1) 小倉正恒: もっとももっとくわしく知りたい!イラストでわかる脂質・脂肪酸・コレステロールのふしぎ 続発性脂質異常症, Nutrition Care 13(4) 335 - 338, 2020.
- 2) 小倉正恒: ω 3脂肪酸と動脈硬化予防, BIO INDUSTRY 37(10) 63 - 72, 2020.

- 3) 多田隼人、高村雅之：遺伝子研究・臨床研究から考察するスタチン残余リスクにおける高中性脂肪血症治療の意義，日本臨床生理学雑誌 Vol. 50 No. 3, 101-107, 2020
- 4) 岡崎啓明：「血中脂質研究の今 環境と遺伝子 高 TG 血症はなぜ増悪するのか？」脂質生化学研究 62:8-11, 2020. 05
- 5) 岡崎啓明：「糖尿病患者の脂質異常症」【糖尿病エキスパートブック 食事療法・栄養指導に活かす最新情報】「臨床栄養」136(6):853-858, 2020. 05
- 6) 岡崎啓明：「TG 値が高い患者に遭遇したら？」jmedmook70 「見直し!脂質異常症」2020. 10
- 7) 岡崎啓明：「原発性高カイロミクロン血症」新薬と臨牀 70(1), 2021 (予定)

(論文)

- 1) Tada H, Takamura M, Kawashiri MA, Genomics of hypertriglyceridemia, Adv Clin Chem. 2020;97:141-169
- 2) Chie Iitake, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Shizuya Yamashita. Marked effects of novel selective peroxisome proliferator-activated receptor α modulator, pemafibrate in severe hypertriglyceridemia. Cardiovasc Diabetol 19:201, 2020 (<https://doi.org/10.1186/s12933-020-01172-8>)
- 3) Shizuya Yamashita, Mitsuyo Okazaki, Takeshi Okada, Daisaku Masuda, Koutaro Yokote, Hidenori Arai, Eiichi Araki, Shun Ishibashi. Distinct differences in lipoprotein particle number evaluation between GP-HPLC and NMR: analysis in dyslipidemic patients administered a selective PPAR α modulator, pemafibrate. J Atheroscler Thromb, in press
- 4) Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, Yuji Matsuzawa. Review: Pemafibrate, a new selective PPAR α modulator: Drug concept and its clinical applications for dyslipidemia and metabolic diseases. Curr Atheroscler Rep. 2020 Jan 23;22(1):5. doi: 10.1007/s11883-020-0823-5.
- 5) Konishi H, Miyauchi K, Onishi A, Suzuki S, Fuchimoto D, Shitara J, Endo H, Wada H, Doi S, Naito R, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Daida H. Effect of pemafibrate (K-877), a novel selective peroxisome proliferator-activated receptor α modular (SPPARM α), in atherosclerosis model using low density lipoprotein receptor knock-out swine with balloon injury. PLoS One. 2020 Nov 17;15(11):e0241195. doi: 10.1371/journal.pone.0241195. eCollection 2020. PMID: 33201888
- 6) Sai E, Shimada K, Aikawa T, Aoshima C, Takamura K, Hiki M, Yokoyama T, Miyazaki T, Fujimoto S, Konishi H, Hirano KI, Daida H, Minamino T. Triglyceride Deposit Cardiomyovasculopathy with Massive Myocardial Triglyceride which was Proven Using Proton-magnetic Resonance Spectroscopy. Intern Med. 2020 Nov 9. doi: 10.2169/internalmedicine.6126-20. Online ahead of print. PMID: 33162485
- 7) Takashi Yamamoto, Takanari Gotoda. Polygenic Architecture of Common Severe

Hypertriglyceridemia. J Atheroscler Thromb, 2020 Dec 1;27(12):1255-1256. doi: 10.5551/jat.ED133. Epub 2020 Jun 4. PMID: 32493883 DOI: 10.5551/jat.ED133

- 8) Kawasaki M, Kambe A, Yamamoto Y, Arulmozhiraja S, Ito S, Nakagawa Y, Tokiwa H, Nakano S, Shimano H. Elucidation of Molecular Mechanism of a Selective PPAR α Modulator, Pemafibrate, through Combinational Approaches of X-ray Crystallography, Thermodynamic Analysis, and First-Principle Calculations. Int J Mol Sci. 2020 Jan 6;21(1):361. doi: 10.3390/ijms21010361. PMID: 31935812; PMCID:PMC6981837.

(講演)

- 1) 岡崎啓明：脂質異常症：遺伝子と環境～どう捉え、どう治療するか？～，脂質異常症 学術講演会，2020年2月19日（於：東京）

資料 6 脳髄黄色腫症に関する疾患啓発（学会等講演・日本語総説）

（国内学会）

1) 小山信吾（座長：関島良樹）：脳髄黄色腫症の診断と病態に即した疾患修飾療法，シンポジウム 8，第 38 回日本神経治療学会学術大会，2020 年 10 月 29 日，東京

（日本語総説）

1) 稲葉雄二，関島良樹：小児期から認知されるべき疾患 脳髄黄色腫症．日本小児科学会雑誌 124(10)：1475-1483，2020

資料 7 無 β リポ蛋白血症に関する疾患啓発（学会等講演）

（国内学会）

- 1) 高橋学、岡崎啓明、石橋俊（座長：斯波真理子，石橋俊）：無 β リポタンパク血症の治療標的は存在するのか？，シンポジウム 20，原発性脂質異常症の分子メカニズムと治療との関連，第 52 回日本動脈硬化学会総会・学術集会，2020 年 7 月 17 日～31 日（Web 開催）
- 2) 矢作直也（大会長・企画：三井田孝）：著明な低脂血症をみたら，，シンポジウム 6（日本動脈硬化学会との共催）原発性脂質異常症のスクリーニング，第 60 回日本臨床化学会・年次学術集会，2020 年 10 月 30 日～11 月 1 日（東京・Web 開催）

資料 8 その他、脂質異常症の疾患啓発（学会等講演・日本語総説・論文）

（国内学会）

- 1) 山下静也：Emerging therapies for patients with residual cardiovascular risk due to hypertriglyceridemia and/or low HDL-C, APSAVD-IAS-JAS Joint Symposium, 第 52 回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020 年 7 月 17 日～31 日(Web 開催)
- 2) 山下静也：食事で動脈硬化を予防する一日本食 (The Japan Diet) の勧め一, 第 21 回日本動脈硬化学会賞受賞講演 (丸山千寿子), 第 52 回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020 年 7 月 17 日～31 日(Web 開催)
- 3) 山下静也：若い時にこそ健康長寿を目指そう!, 人生 100 年時代の健康長寿, 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020 年 7 月 27 日～8 月 2 日(Web 開催)
- 4) 山下静也：NAFLD と脂質異常症, 日本肝臓学会-日本動脈硬化学会 Joint Session, 第 56 回日本肝臓学会総会, 2020 年 8 月 28 日～8 月 29 日 (大阪)
- 5) 大村 寛敏, 代田 浩之：動脈硬化性疾患予防ガイドライン-次回改定に向けた課題と提言『動脈硬化性疾患の二次予防』：薬物療法の戦略とアテローム性動脈脈硬化性心血管疾患 (ASCVD). 日本動脈硬化学会総会プログラム・抄録集 (1347-7099) 52 回 Page146(2020.07)

（日本語総説）

- 1) 小倉正恒：評価・処方 of “いま” を押さえる 見直し! 脂質異常症, 小倉正恒編, 日本医事新報社, 東京, 2020: 全 197 ページ (企画編集)
- 2) 塚本和久：脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート 2019 年版について, 総合健診 47(5), 564-573, 2020
- 3) 男澤悠貴, 塚本和久：脂質異常症の診断基準・鑑別診断, 診断と治療 108(10), 1335-1340, 2020
- 4) 内野卓也, 塚本和久：脂質異常症の病態と診断、血液検査による評価, そうだったんだ! 脂質異常症 (伊藤浩、編集) 文光堂, pp 77-82, 2020
- 5) 原真純, 塚本和久：脂質異常症の治療計画, 高血圧と循環器病の予防と管理 第二版 (高血圧・循環器病予防療養指導士認定委員会 編集) 株式会社社会保険研究所, pp 259-265, 2020
- 6) 塚本和久：脂質異常症—高 LDL コレステロール血症, 今日の治療指針 2021 年版—私はこう治療している (福井次矢、高木誠、小室一成 総編集) 医学書院, pp 774-777, 2021
- 7) 山下静也：特集：動脈硬化予防のための肥満・脂質異常症診療戦略 13. 脂質異常症の薬物療法：治療開始のタイミングと管理目標値, 診断と治療 108(10):1353-1361, 2020
- 8) 山下静也：1. 脂質異常症の検査と治療の最前線, 日本内科学会雑誌, in press
- 9) 山下静也：第 VI 章 内分泌・代謝系疾患 動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017

- 年版 (2017) /NEW 動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症治療ガイド 2018 年版 (2018), 日常診療に活かす診療ガイドライン UP-TO-DATE 2020-20212) 脂質異常症 (監修: 門脇 孝、小室一成、宮地良樹): 405-412, 2020 (メディカルレビュー社)
- 1 0) 山下静也: 第 22 章 脂質異常症用薬, ポケット判 治療薬 UP-TO-DATE 2020 (監修: 矢崎義雄、編集: 松澤佑次、永井良三、伊藤貞嘉、松原和夫): 320-340, 2020 (メディカルレビュー社)
- 1 1) 山下静也: 第 22 章 脂質異常症用薬, ポケット判 治療薬 UP-TO-DATE 2021 (監修: 矢崎義雄、編集: 松澤佑次、永井良三、伊藤貞嘉、松原和夫): in press, 2021 (メディカルレビュー社)

(論文)

- 1) Kajinami K. Tsukamoto K., Koba N. Inoue I. Yamakawa M. Suzuki S. Hamano T. Saito H. Saito Y. Masuda T. Nakayama T. Okamura T. Yamashita S. Kagawa T. Kaneyama J. Kuriyama A. Tanaka R. Hirata A. Statin Intolerance Clinical Guidelines Working Group. Statin Intolerance Clinical Guide 2018 Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 27(4):375-396, 2020
- 2) Yokoyama S. ApoAIHDL increased double over the past 35years in Japanese cohort while apoA-I/A-II-HDL decreased. BBA-Molecular and Cell Biology of Lipids 1865(2020):158810
- 3) Shizuya Yamashita, Hidenori Arai, Hideaki Bujo, Daisaku Masuda, Tohru Ohama, Toshiyuki Ishibashi, Koji Yanagi, Yasuji Doi, Satoshi Nakagawa, Koichi Yamashiro, Kenichiro Tanabe, Toru Kita, Masunori Matsuzaki, Yasushi Saito, Masanori Fukushima, Yuji Matsuzawa, on Behalf of the PROSPECTIVE Study Group. Probuco Trial for Secondary Prevention of Atherosclerotic Events in Patients with Coronary Heart Disease (PROSPECTIVE). J Atheroscler Thromb. 2020 April 24. doi: 10.5551/jat.55327. [Epub ahead of print]
- 4) Yinghong Zhu, Tohru Ohama, Ryota Kawase, Jiuyang Chang, Hiroyasu Inui, Kotaro Kanno, Takeshi Okada, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita, Progranulin deficiency leads to enhanced age-related cardiac hypertrophy through complement C1q-induced β -catenin activation. J Mol Cell Cardiol 138:197-211, 2020
- 5) Kouji Kajinami, Kazuhisa Tsukamoto, Niihari Koba, Ikuo Inoue, Masashi Yamakawa, Shigeaki Suzuki, Tadanori Hamano, Hidetsugu Saito, Yoshiro Saito, Satohiro Masuda, Takeo Nakayama, Tomonori Okamura, Shizuya Yamashita, Takehiro Kagawa, Junji Kaneyama, Akira Kuriyama, Rumi Tanaka, Aya Hirata: Statin Intolerance Clinical Guidelines Working Group; The Japan Society of Hepatology, Japanese Society of Neurology, Japan Atherosclerosis Society, The Japanese Society for the Study of Xenobiotics. Statin intolerance clinical guide 2018. J Atheroscler Thromb 2020 Apr 1;27(4):375-396. doi: 10.5551/jat.50948. Epub

2019 Oct 4.

- 6) Robert Ross, Ian Neeland, Shizuya Yamashita, Iris Shai, Jacob Seidell, Paolo Magni, Raul dos Santos, Benoit Arsenault, Ada Cuevas, Frank Hu, Bruce Griffin, Alberto Zambon, Philip Barter, Jean-Claude Fruchart, Robert Eckel, Yuji Matsuzawa, Jean-Pierre Després. Waist circumference as a vital sign in clinical practice: a Consensus Statement from the IAS and ICCR Working Group on Visceral Obesity. *Nature Reviews Endocrinology* 16(3):177-189, 2020
- 7) Daisaku Masuda, Arihiro Kiyosue, Atsushi Hirayama, Junichiro Shimauchi, J. Antonio G. López, Kazumasa Miyawaki, Shizuya Yamashita. Evolocumab effects on lipoproteins, measured by high-performance liquid chromatography. *J Atheroscler Thromb* 27(11):1183-1207, 2020
- 8) A Report from the Asian Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Disease
Asia Pacific Peripheral Artery Disease Consensus Statement
Project Committee: Maria Teresa B. Abola, Jonathan Golledge, Tetsuro Miyata, Seung-Woon Rha, Bryan Yan, Timothy, Marie Simonette Ganzon, Salim Harris, Pankaj Kumar, Rama Krishna Pinjala, Peter Robless, Hiroyoshi Yokoi, Raden Suhartono, Jiang Zhisheng, Elaine Alajar, April Bermudez delos Santos, Elmer Jasper Llanes, Marjorie Obrado, Noemi Pestaño, Felix Eduardo PunzalanC, Bernadette Tumanan.
Steering Committee: Edward Janus, Rody G. Sy, Fatima R. Collado, Florimond A. Garcia, Shizuya Yamashita. Asia Pacific Consensus Statement on the management of peripheral artery disease. *J Atheroscler Thromb*, in press
- 9) Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, Yuji Matsuzawa. Editorial: New horizons for an old, mysterious drug probucol. *J Atheroscler Thromb*, in press
- 10) Daisaku Masuda, Yuko Miyata, Shingo Matsui, Shizuya Yamashita. Omega-3 fatty acid ethyl esters improve low-density lipoprotein subclasses without increasing low-density lipoprotein-cholesterol levels: A phase 4, randomized study. *Atherosclerosis* 292:163-170, 2020
- 11) Yinghong Zhua, Tohru Ohama, Ryota Kawase, Jiuyang Chang, Hiroyasu Inui, Kotaro Kanno, Takeshi Okada, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita. Progranulin deficiency leads to enhanced age-related cardiac hypertrophy through complement C1q-induced β -catenin activation. *J Mol Cell Cardiol* 138:197-211, 2020
- 12) Daisaku Masuda, Shizuya Yamashita. Postprandial glucose and triglyceride increases along with the endothelial malfunction were attenuated by the administration of SGLT2 inhibitor, empagliflozin. *J Atheroscler Thromb*. 2020 Jan 31. doi: 10.5551/jat.ED124. [Epub ahead of print]
- 13) Takeshi Okada, Mizuki Sumida, Tohru Ohama, Yuki Katayama, Hiroyasu Inui, Kotaro Kanno, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Norihiro

- Kayahara, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita. Development of an enzyme-linked immunosorbent assay for oxidized high density lipoprotein and its Clinical application for cardiovascular risk assessment. *J Atheroscler Thromb*, in press
- 1 4) Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, Masahiro Akishita, Hidenori Arai, Yujiro Asada, Kazushige Dobashi, Kensuke Egashira, Mariko Harada-Shiba,
- 1 5) Kenichi Hirata, Shun Ishibashi, Kouji Kajinami, Makoto Kinoshita, Koichi Kozaki, Masafumi Kuzuya, Masatsune Ogura, Tomonori Okamura, Kayoko Sato, Hitoshi Shimano, Kazuhisa Tsukamoto, Masayuki Yokode, Koutaro Yokote, Masayuki Yoshida. Guidelines on the clinical evaluation of medicinal products for treatment of dyslipidemia. *J Atheroscler Thromb* 27(11):1246-1254, 2020
- 1 6) Shizuya Yamashita. New life for old heart drug. TRI (Translational Research Center for Medical Innovation) Advances: Research Highlight, 19 August 2020 (<https://advances.tri-kobe.org/en/research/75/new-life-for-old-heart-drug>)
- 1 7) Shizuya Yamashita, Yuji Matsuzawa. Adiposity measures and mortality in an Asian population. *Nature Reviews Endocrinology*, in press
- 1 8) Cesare R Sirtori, Shizuya Yamashita, Maria Francesca Greco, Alberto Corsini, Gerald Watts, Massimiliano Ruscica. Recent advances in synthetic pharmacotherapies for dyslipidemias. *Eur J Prevent Cardiol* 27(15):1576-1596, 2020
- 1 9) Kimura M, Horie T, Baba O, Ide Y, Tsuji S, Ruiz Rodriguez R, Watanabe T, Yamasaki T, Otani C, Xu S, Miyasaka Y, Nakashima Y, Kimura T, Ono K. Homeobox A4 suppresses vascular remodeling by repressing YAP/TEAD transcriptional activity. *EMBO Rep.* 2020 Apr 3;21(4):e48389. doi: 10.15252/embr.201948389. Epub 2020 Mar 9.
- 2 0) Yamamoto H, Kihara Y, Fujimoto S, Daida H, Kobuke K, Iwanaga Y, Miyazaki S, Kawasaki T, Fujii T, Kuribayashi S. Predictive value of the coronary artery calcium score and advanced plaque characteristics: Post hoc analysis of the PREDICT registry. *J Cardiovasc Comput Tomogr.* 2020 Aug 9;S1934-5925(20)30371-3. doi: 10.1016/j.jcct.2020.06.198. Online ahead of print.PMID: 32826204
- 2 1) Nishitani-Yokoyama M, Miyauchi K, Shimada K, Yokoyama T, Ouchi S, Aikawa T, Kunimoto M, Yamada M, Honzawa A, Okazaki S, Tsujita H, Koba S, Daida H. Preliminary Pilot Study of Combined Effects of Physical Activity and Achievement of LDL-Cholesterol Target on Coronary Plaque Volume Changes in Patients with Acute Coronary Syndrome. *J Clin Med.* 2020 May 22;9(5):1578. doi: 10.3390/jcm9051578.PMID: 32455937
- 2 2) Suwa S, Ogita M, Takahashi N, Wada H, Dohi T, Kasai T, Okazaki S, Shimada K, Miyauchi K, Bujo H, Daida H. Impact of LR11 as Residual Risk on Long-Term Clinical Outcomes in Patients with Coronary Artery Disease Treated with Statins after First Percutaneous Coronary Intervention. *Int Heart J.* 2020 May 30;61(3):470-475. doi: 10.1536/ihj.19-686. Epub 2020 Apr 29.PMID: 32350212

- 23) Kodama S, Fujihara K, Horikawa C, Sato T, Iwanaga M, Yamada T, Kato K, Watanabe K, Shimano H, Izumi T, Sone H. Diabetes mellitus and risk of new-onset and recurrent heart failure: a systematic review and meta-analysis. ESC Heart Fail. 2020 Oct;7(5):2146-2174. doi: 10.1002/ehf2.12782. Epub 2020 Jul 29. PMID:32725969; PMCID: PMC7524078.
- 24) Manda CM, Hokimoto T, Okura T, Isoda H, Shimano H, Wagatsuma Y. Handgrip strength predicts new prediabetes cases among adults: A prospective cohort study. Prev Med Rep. 2020 Jan 23;17:101056. doi: 10.1016/j.pmedr.2020.101056. PMID: 32071846; PMCID: PMC7016270.

(講演)

- 1) 塚本 和久 (座長: 山下静也): 脂質異常症 ～症状はなくとも管理が肝心!～, 市民公開講座「長寿の達人を目指す ～血管を若返らす～」, 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2020年7月17日～31日(Web開催)
- 2) 山下静也: 動脈硬化を予防して心臓病・脳卒中にならないためには?, 健康長寿日本一を目指して!!!～動脈硬化を防いで秋田を元気にしよう～, 日本動脈硬化学会第11回市民公開講座, 2020年10月17日(秋田)
- 3) 山下静也: 脂質異常症の検査と治療の最前線, セッションI, 2020年度第2回日本内科学会生涯教育講演会, 2020年11月8日(北海道)
- 4) 代田浩之: 心臓病の二次予防と心臓リハビリテーション, 日本心臓財団 季報 239号 2020年7月10日